

2021年12月17日

再生可能エネルギーファンド 「カーボンニュートラルファンド1号投資事業有限責任組合」への出資について

株式会社百五銀行（頭取 伊藤 歳恭）は、当行の出資先で、再生可能エネルギーファンドの運営会社であるZエナジー株式会社（代表取締役社長 安岡 克己）を無限責任組合員とする「カーボンニュートラルファンド1号投資事業有限責任組合」への出資を決定し、本日、組合契約を締結しましたので下記のとおり、お知らせします。

同社が運営するファンドでは、再生可能エネルギー電力（以下、再エネ電力）を「つくる」ことに加え、再エネ電力の「小売」、パートナー各社および関係先での再エネ電力需要をきっかけとした再エネ電力を「つかう」までを一貫して行うことで、再生可能エネルギーの普及に貢献します。

当行は「百五銀行グループSDGs宣言」の重点課題の一つに「地球環境・地域環境の保全」を掲げており、気候変動問題に能動的な貢献をめざします。

記

ファンドの概要

名称	カーボンニュートラルファンド1号投資事業有限責任組合
当行出資額	非公表
無限責任組合員	Zエナジー株式会社
出資期間	25年
投資対象	再生可能エネルギー発電事業

《ご参考》

これまでの主な環境保全への取組み

- ・1999年6月、環境方針を制定し、2019年10月には「百五銀行グループSDGs宣言」の重点課題の一つに「地球環境・地域環境の保全」を掲げ、森林保全活動や、再生可能エネルギー関連融資の推進など、環境保全への取組みを積極的に進めています。
- ・2021年6月には、気候変動への対応が企業経営の大きな課題となっていることを踏まえ、「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）」提言に賛同しました。
- ・2021年8月に岩田本店棟、2021年10月には丸之内本部棟において、三重県産CO₂フリー電気を導入しました。これにより、脱炭素化への取組みを進めるとともに、電気料金の一部を三重県内の再エネ電源の維持・拡大に活用するなどの取組みを行っています。

以 上